



地域の中で育てる

校長 谷口 慎一

まだまだ冷たい春風にも、春の気配が感じられる今日この頃です。早いもので明日より、3月となります。子供たちは本年度の学習や生活のまとめに取り組んだり、新しい学年の準備を行ったりと充実した学校生活を送っています。

先日、あすなる学級の児童が、体育館でトーンチャイムのコンサートを開きました。「トーンチャイム」とは普及型のハンドベルとして開発した楽器ですが、その美しい余韻と柔らかく心に沁み入るような音色は、ハンドベルとはまた違った魅力を持った楽器です。また、グループで演奏する楽器で、一人ひとりが自分の音を担当し、グループ全員が一つになった時に、素敵な音楽になります。あすなる学級の皆さんはコンサートに向け、4月より演奏家の竹花先生のご指導をいただきながら練習を重ねました。コンサート当日はあすなる学級の児童全員が心を一つにした美しい演奏で、鑑賞した全校のたくさんの児童や先生方に大きな感動を与えました。演奏を終えたあすなる学級児童の笑顔には、一年間の大きな成長と自信が表れていました。

さて2月12日(水)に、第1回 草加小学校 地域学校協働本部会議 が開催されました。「地域学校協働」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。(文部科学省「地域学校協働活動パンフレット」より)本校は、地域とのつながりが大変深い学校で、児童の健やかな成長のため、地域の皆様に様々なご支援をいただいております。今回の会議では、次代を担う子供たちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働するため、本校をご支援いただいている様々な団体が「ゆるやかなネットワーク」を形成することを目的として開催されました。

会議当日は、学校運営協議会、平成塾、おはなしの森、こどもひろば・ファーム、民生委員・主任児童委員、町会長会議、トイレ清掃ボランティア、学習活動環境整備支援、PTA、学校開放会議の代表の皆様が一堂に会し、草加小めざす児童像の実現に向けて、何ができるのか、そのためにどのようなネットワークを形成すればいいのか等を熱心にご協議いただきました。次年度以降も引き続き、学校と地域が協働して児童の健やかな成長を支援していくことを確認して閉会しました。草加小の児童は、多くの皆様に支えられながら健やかに成長していることを、改めて実感することができました。会に参加された各団体の皆様に、心から感謝申し上げます。

最後になりますが、この一年、草加小にご協力・ご支援をいただいた保護者の皆様、学校運営協議会委員やPTA役員の皆様をはじめ、地域・学校関係者の皆様に感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動の益々の発展のため、お力添えを賜りますよう心からお願いいたします。